

2010年3月期 決算説明会

(2009年4月1日～2010年3月31日)

株式会社 精工技研

2010年 5月17日

- I . 2010年3月期 連結決算概要
- II . 長期経営計画 マスタープラン2010
- III . 2011年3月期 連結業績見通し

I . 2010年3月期 連結決算概要

II . 長期経営計画 マスタープラン2010

III . 2011年3月期 連結業績見通し

2010年3月期 連結決算ハイライト①

(百万円)	2010年3月期	2009年3月期	対前期 増減率	業績予想値 (2009/11/12)
売上高	4,683	6,426	△27.1%	4,810
精機部門	906	1,550	△41.5%	960
光製品部門	3,776	4,875	△22.5%	3,850
営業利益	△925	△710	—	△950
経常利益	△716	△552	—	△760
当期純利益	△1,342	△857	—	△700

2010年3月期 連結決算ハイライト②

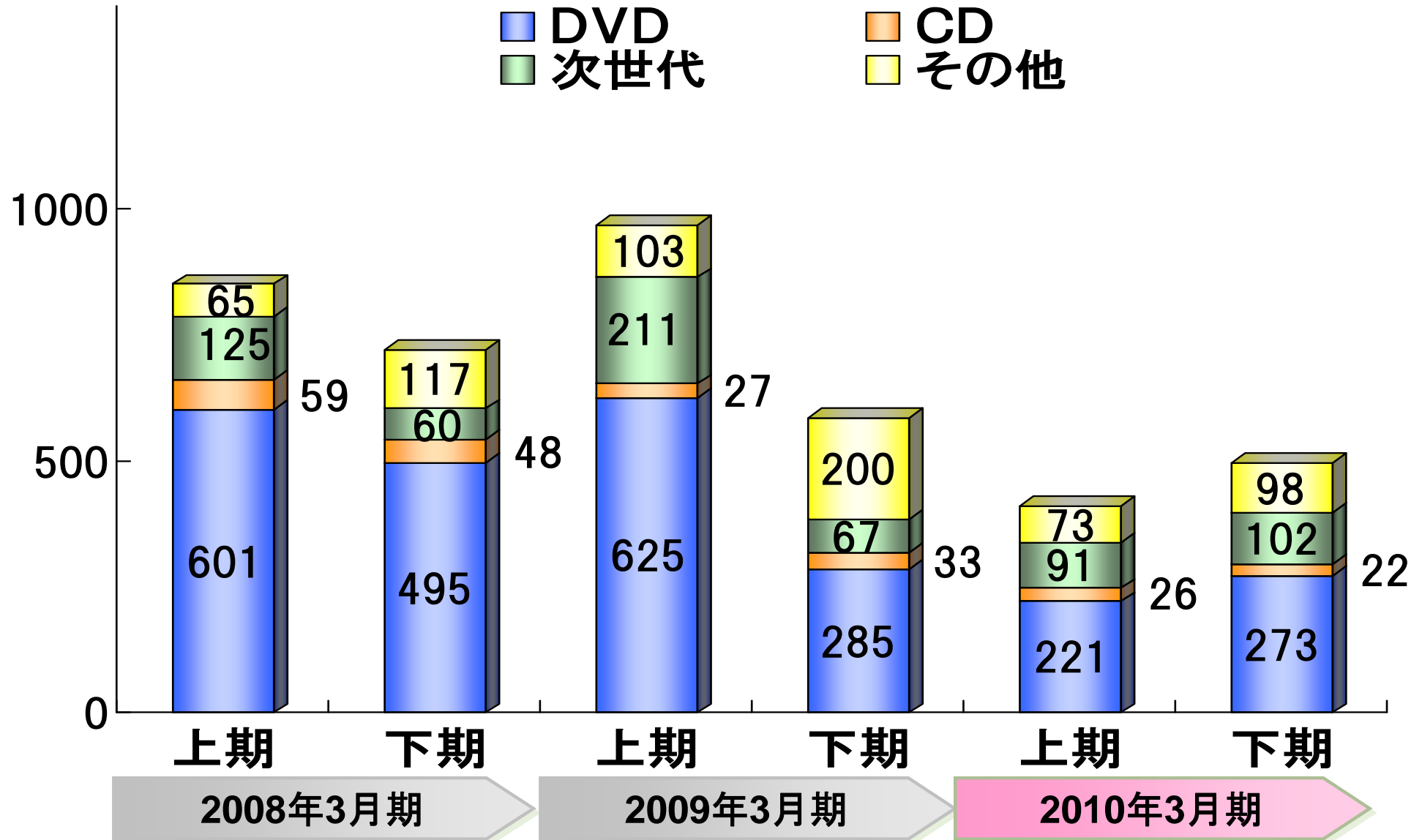
(百万円)	2010年3月期	2009年3月期	対前期 増減率
受注高	4,698	5,963	△21.2%
受注残	412	397	+3.8%
設備投資	403	398	+1.3%
減価償却費	489	707	△30.8%
研究開発費	642	1,242	△48.3%

セグメント業績／精機部門

(百万円)	2010年3月期	2009年3月期	対前期 増減率
売上高	906	1,550	△41.5%
営業費用	1,623	2,109	△23.0%
営業利益	△716	△558	—
営業利益率	△79.0%	△36.0%	△43.0%

製品別売上高／精機部門

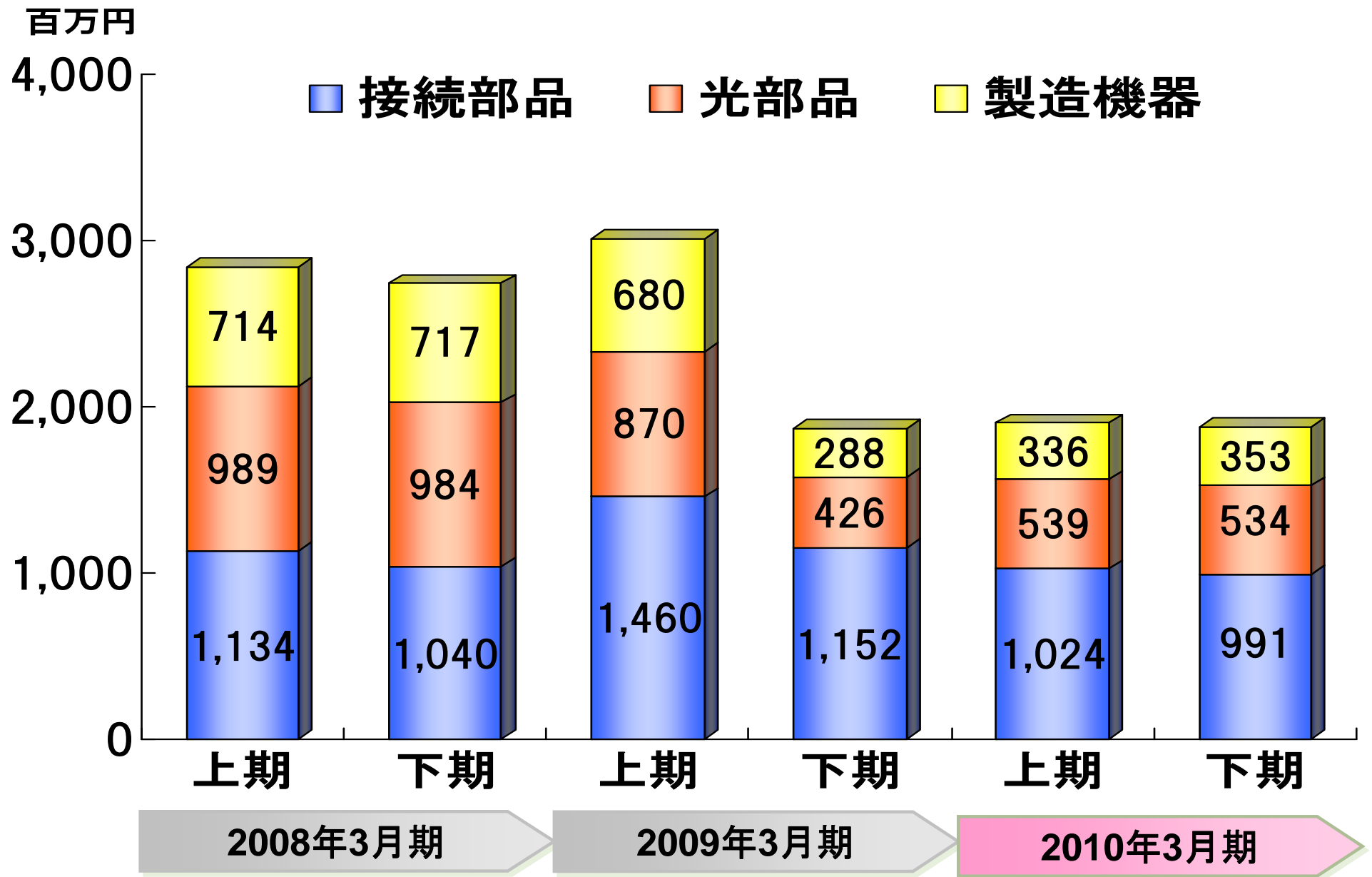
百万円



セグメント業績／光製品部門

(百万円)	2010年3月期	2009年3月期	対前期 増減率
売上高	3,776	4,875	△22.5%
営業費用	3,985	5,027	△20.7%
営業利益	△208	△151	—
営業利益率	△5.5%	△3.1%	△2.4%

製品別売上高／光製品部門



連結貸借対照表

(百万円)

科目	2010年3月期	2009年3月期	増減額
<資産の部>			
流動資産	15,654	16,459	△804
固定資産	6,005	6,885	△879
資産合計	21,660	23,344	△1,684
<負債及び純資産の部>			
流動負債	954	1,195	△241
固定負債	626	611	+14
純資産	20,079	21,537	△1,458
負債純資産合計	21,660	23,344	△1,684

連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

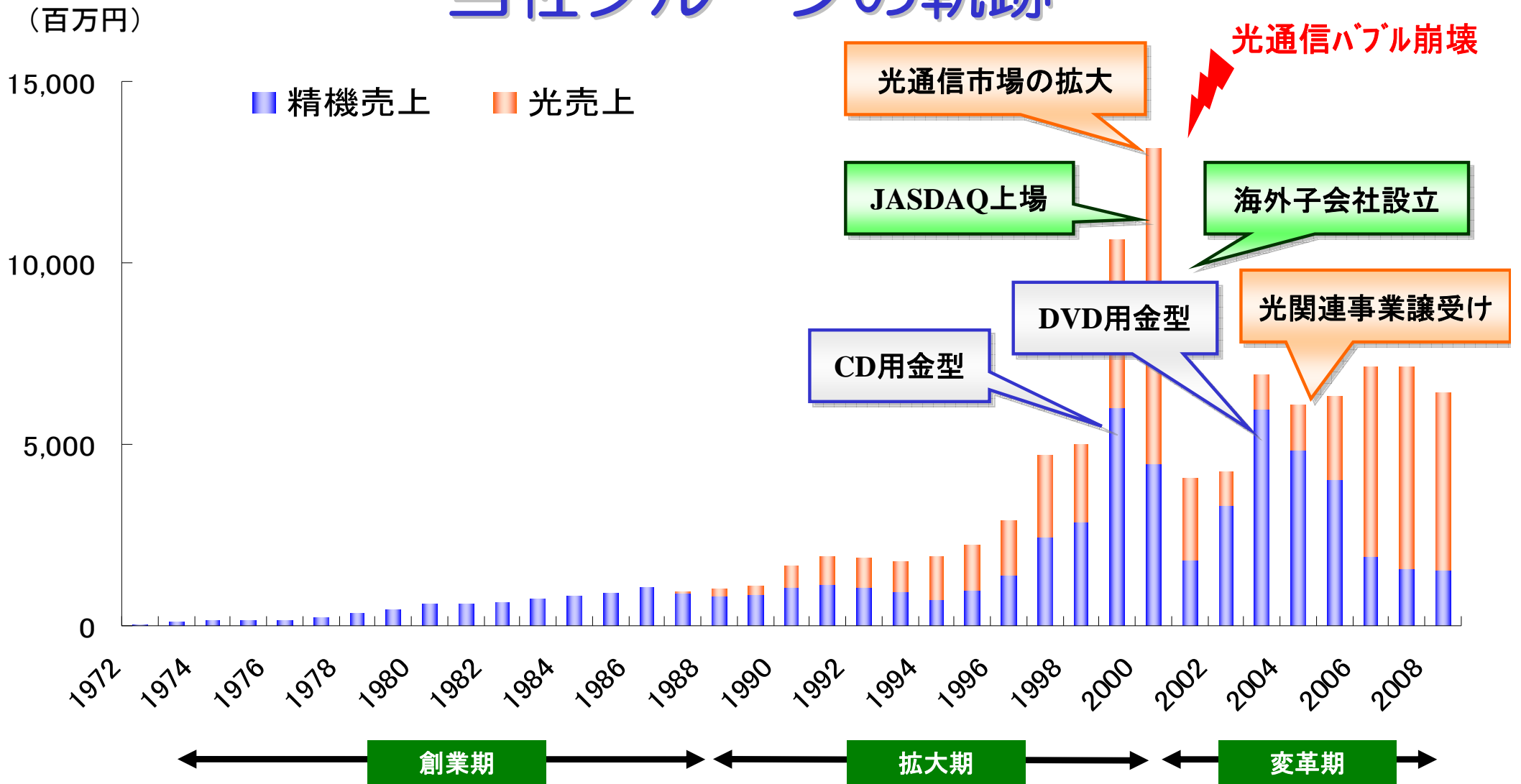
項目	2010年3月期	2009年3月期
営業 C F	30	779
投資 C F	△436	△823
財務 C F	△158	△394
現金増加額	△547	△638
期首残高	2,218	2,857
期末残高	1,671	2,218

I . 2010年3月期 連結決算概要

II . 長期経営計画 マスタープラン2010

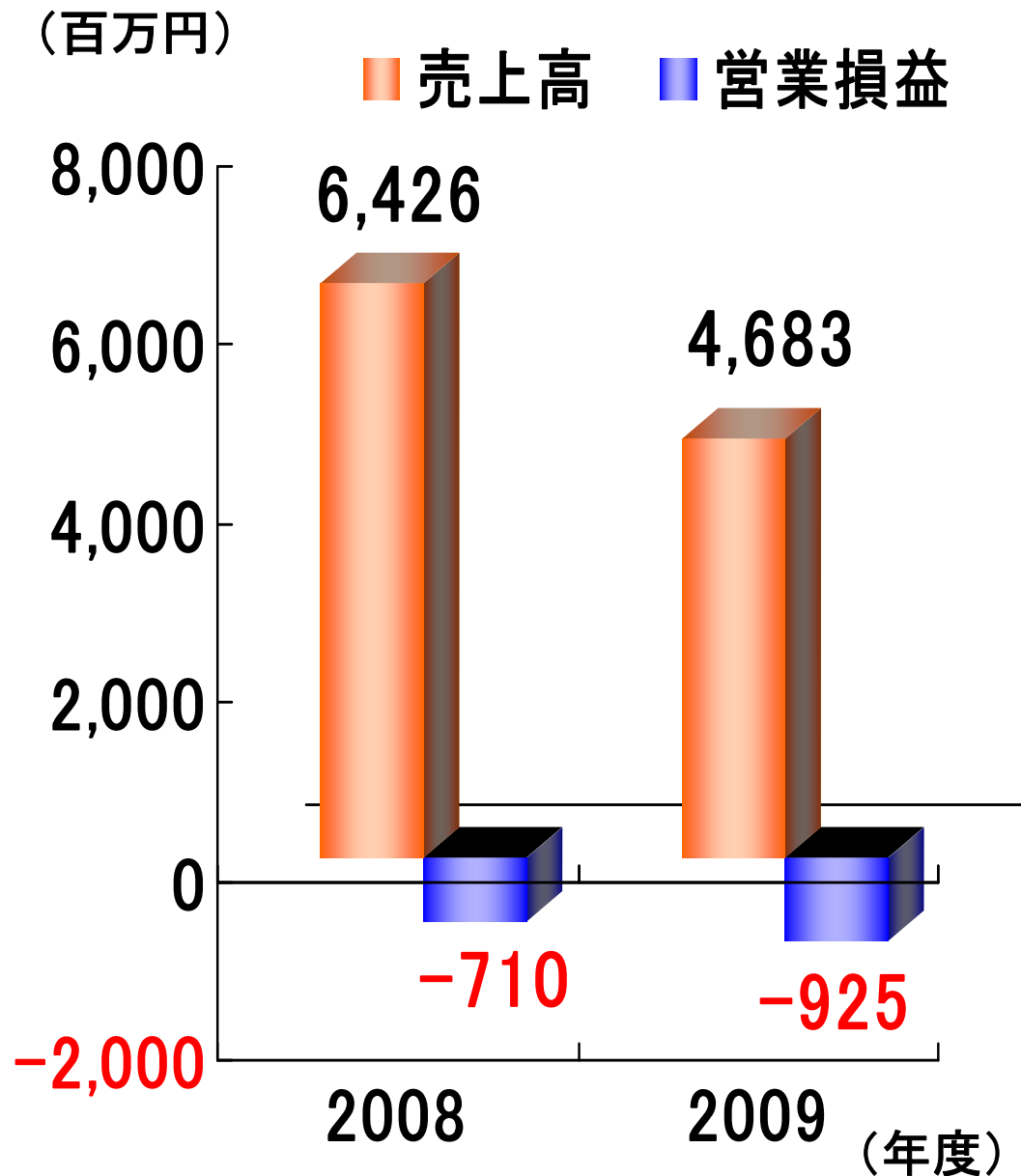
III . 2011年3月期 連結業績見通し

当社グループの軌跡



市場動向	産業全体の緩やかな成長	ターゲット市場の急拡大	市場の崩壊
当社施策	技術基盤の確立	有力な事業パートナーの獲得	事業インフラ拡充

近年の業績推移とその要因



業績低迷の主な要因

◆ 外部要因

- ・ 金融不安に伴う世界同時不況
- ・ 企業間競争の激化
- ・ 市場価格の下落の加速

◆ 内部要因

- ・ 市場動向・市場規模の見誤り
- ・ 新製品開発の遅れ
- ・ 重い固定費負担

経営改革の主なポイント

1. 事業の再構築

経営資源の選択と集中を行い、筋肉質な企業体質を構築する。

2. 事業拡大戦略

グローバル・マーケットインの営業戦略と商品戦略により、事業拡大を図る。

3. 組織の変革

機能別組織体制へ移行すると共に独立採算運営、損益責任の明確化を図る。

経営理念とビジョン

経営理念

すぐれた技術と独創性で質の高い商品を提供し、
社会の進歩発展に貢献して、
会社の成長と社員の幸福を追求すると同時に、
その社会的責任を果たす。

ビジョン

精密加工を核に、世界の顧客のベストパートナーになる。

～ 顧客の成長に必要な唯一無二の存在 ～

1. 事業の再構築

- ◆ 経営資源の選択と集中を行い、筋肉質な企業体質を構築する。

重点施策	時期
◆ 不採算製品からの撤退	2010年度～2011年度
◆ 拠点体制の最適化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 製造機能(量産ライン)を杭州精工技研に移管 ・ 香港精工技研の閉鎖 	2010年度～2012年度 2010年度上期
◆ 開発投資の選択と集中	2010年度～
◆ 経営資源の適正化 <ul style="list-style-type: none"> ・ 第1工場・第4工場(千葉県松戸市)を本社工場へ集約 ・ 人員の適正規模への調整(希望退職制度の実施) 	2010年度内 2010年度上期

2. 事業拡大戦略

◆ グローバル・マーケットインの営業戦略と商品戦略により、事業拡大を図る。

重点施策	時期
<p>◆ 販売力の強化(営業戦略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 販売組織を地域別組織に改編 ・ 販売代理店戦略の見直し ・ 非通信関連市場への製品展開 ・ 中国市場向け製品の開発、新興国市場の開拓 ・ メンテナンスサービスの拡充 	<p>2010年度～2011年度</p> <p>2010年度～2011年度</p> <p>2014年度までに</p> <p>2010年度～</p> <p>2010年度～</p>
<p>◆ 商品力の強化(商品戦略)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 既存製品の改善、改良の促進 ・ 開発スタート時審査方法、案件の進捗管理方法の見直し ・ 既存技術の応用により新たな業界への進出 ・ 次世代のフラッグシップ的なトップシェア製品の開発 	<p>2010年度～</p> <p>2010年度～</p> <p>2014年度までに</p> <p>2014年度までに</p>

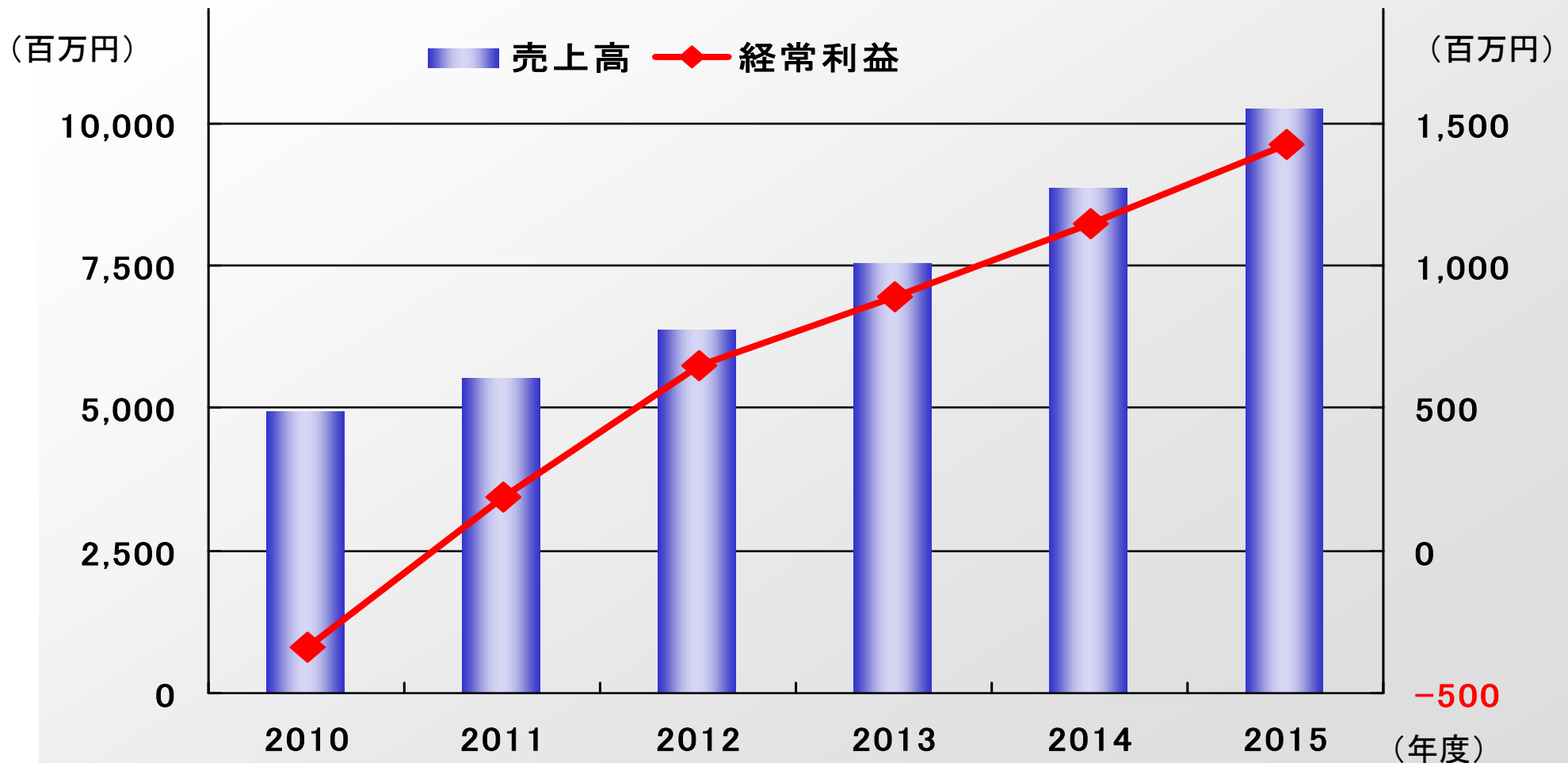
3. 組織の変革

- ◆ 機能別組織体制へ移行すると共に独立採算運営、損益責任の明確化を図る。

重点施策	時期
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 組織体制の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業別組織 ⇒ 機能別組織体制への移行 ・ 組織単位別の損益が見える化し、損益責任を明確化 	<p>2010年度上期</p> <p>2010年度～</p>
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 風土改善・人材育成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各自が主体的に行動し、成果につなげる組織文化の醸成 ・ 計画的かつ効率的な人材教育の実施 	<p>2010年度～</p> <p>2010年度～</p>

2010年度～2015年度 業績目標

- ◆ 2010年度 第4四半期（2011年1月～3月）で単月黒字化に転換
- ◆ 2015年度に売上高100億円、経常利益14億円を達成する



I . 2010年3月期 連結決算概要

II . 長期経営計画 マスタープラン2010

III . 2011年3月期 連結業績見通し

2011年3月期 連結業績見通し

(百万円)	上半期	下半期	11/3月期 見通し	10/3月期 実績
売上高	2,400	2,600	5,000	4,683
営業利益	△350	△50	△400	△925
経常利益	△340	0	△340	△716
当期純利益	△630	△120	△750	△1,342
設備投資			348	403
減価償却費			399	489
研究開発費			393	642

2011年3月期 連結業績見通し (部門別)

(百万円)

	上半期 見通し	下半期 見通し	通期	前期実績	対前期 増減率
精機製品関連					
売上高	500	700	1,200	906	+32.5%
営業費用	790	750	1,540	1,623	△5.1%
営業利益	△290	△50	△340	△716	—
光製品関連					
売上高	1,900	1,900	3,800	3,776	+0.6%
営業費用	1,960	1,900	3,860	3,985	△3.1%
営業利益	△60	0	△60	△208	—

セグメント別 業績計画

